

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス
...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより

第26号
2005.1

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
URL: http://www.npocommons.org
E-mail: info@npocommons.org

コラム

5カ年構想
具体化を
目指して

明けましておめでとうございます。2005年の新年を迎えました。年頭には、災害や悲惨な事件が多かった昨年までの過去を振り返り、2005年以降の新たな可能性を展望し、新たな課題に取り組む姿勢をたやす方が相応しいでしょう。私たち茨城NPOセンター・コムズは、茨城県内のNPOを支援する民営NPO法人として、これまでの5年間で多くのNPO法人の設立を支援してきました。それらの活動内容は、地域福祉、環境保全、まちづくり、子育て支援、文化・スポーツ振興、生涯学習、国際協力など多様な分野に広がり、大きな成果をあげ、それぞれの地域では、すでになくてはならない活動組織として存在しています。しかし、そうしたNPOの活動を支える人材や情報、そして活動資金の確保に困難を生じているNPO法人がみられることも確かです。そこで、私たちコムズは茨城県内のNPO法人の人材、情報、資金の確保を支援する新たな仕組みというシステムを構築すべく「NPO5カ年構想」を立案し、2005年にはまず資金の確保を支援する「NPOポンド(基金)」(仮称)の立ち上げに取り組むことになりました。そして、「NPOポンド」に連動して「NPO人材・情報支援センター」の設立にも取り組んで行きたいと考えています。そのためにも、これまで以上に県内250のNPO法人やコムズの会員はもとより、行政機関や企業組織および関連団体などからもご理解とご協力を賜りながら、より充実したNPOへの支援活動を展開しなければならぬと思っています。「茨城NPOポンド」の立ち上げという2005年の年頭の抱負を述べ、ごあいさつと致します。今年も茨城NPOセンター・コムズの活動を宜しくお願い申し上げます。

(文 代表理事 帯刀 治)

茨城県認証NPO法人

251 (12月24日現在)

内閣府認証県在NPO法人

66 (10月31日現在)

消費者相談のセカンドオピニオンとして



NPOのひとびと NPO法人 NPO消費者相談室 代表理事 山口 康夫さん

行政の消費者相談を補完

行政の消費者相談窓口は平日の9時から17時。先物取引などに巻き込まれた場合、相談が1時間でも遅れると数千万円の負債が生じることも少なくない。相談体制が整えば苦しむ方が減ることは明白だった。もちろん、行政の相談窓口と対立するつもりはなく、むしろお互いに補完しあう関係でありたいと考えている。

3月5日(土)に水戸市消費生活センターとの共同主催でセミナーを開催。山口さんが基調報告、多重債務やサラ金問題のパネルディスカッションを展開する予定。

また、消費者問題でも相談にあたる人によって解釈が異なる場合もある。この団体もセカンドオピニオンとしての役割が重要だと考えている。今回、人材にも恵まれ、消費者相談としては万全な体制でスタートした。

聞き出す力

相談は毎週土曜日10~16時、通常2~3件だが10件を超える場合もある。電話でも1、2時間を超える相談となることも。もちろん事務所に訪問相談も可能。相談員には聞き取る力が要求される。きちんとした聞き取りがあってこそ問題は解決する。金銭トラブルに巻き込まれることを恥とする日本人から「恥ずかしいこと」を聞き出すことは

非常に難しい。できるだけ隠しておきたいことをいかに問題解決につなげるように聞き出すかが相談員の役目になる。それぞれケースの異なる事例の中で、トラブルの相談を受けながら相談員も力をつけていく努力を怠らないうようにしたい。

消費者問題は高齢社会問題

幸い茨城は独居率が低い。消費者トラブルに巻き込まれる方の多くは独居老人で、コミュニティの中に入れていない場合が多い。普段の生活の寂しさから、やさしく近づいてくる人への警戒心が低いこともあって、次々に悪質商法の餌食にされてしまう。豊田商事事件などのように高齢者が被害にあっているケースが非常に多く、高齢社会問題ともいえる。

また、3年ほど前から急増したのがオレオレ詐欺。人の弱みに付け込んだ許せない詐欺事件で、犯人が特定できないので取り返しがない。統計によると今年の相談の約2分の1がこの事例による。消費者問題の特徴として一旦起こったトラブルはなくなる。全てが未解決で、さらに新しい問題が加わるので、相談のニーズはますます増加する。

自分で生活を取り戻し、生活の仕方を改めることが大切で、多重債務を繰り返さないように、

とにかく自己破産を食い止める解決案を提示するようにしている。

アドボケイトする心

大学で法律を学び始めた頃、世の中は4大公害問題に揺れていた。学問と現実社会の間を埋めることが学びをスタートさせる時点での課題でもあった。山口さんの弱者に寄り添う姿勢は、札幌でいのちの電話にも関わってきたという経歴にも現れている。茨城は数少ない法律学部のない県だった。4年前に流通経済大学で法学部が創設され、自分の生まれた地で貢献することができればという思いから帰水し、現在にいたっている。

より活発な活動へ

今後体制を強化していくためには、現在の理事や相談員の正会員だけでなく、広く市民の協力も得て、多くの人に消費者相談を支える会員になっていただくことが大切。市民教育が徹底されない中で、消費者問題への取り組みは個人に委ねられているのが現状。趣旨にご賛同いただける方は下記にご連絡を。

NPO法人 NPO消費者相談室
〒310-0063
水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
茨城NPOセンター・コムズ内
Tel 029-232-3800 (土曜日のみ)

TOPICS

認定NPO制度の要件が一部緩和

12月4日に水戸市で開催された「認定NPO制度を変えるための茨城集会」には衆議院議員の赤城徳彦氏と大島章宏氏をはじめ7人国会議員秘書を含む70名が参加。改善要望項目の解説や現場のNPOからの問題提起をもとに活発な討論が行われた。(詳しくはコムズのホームページをご覧ください) このような集会は全国13箇所で開催され、全国のNPO法人関係者の署名や国会議員への要望活動を受けて12月に発表された次年度税制大綱には、次の改善項目が盛り込まれ、要望が一部反映された。 会員向けの活動の制限の緩和(会員等の範囲から、

単なる顧客が除外され、会員制団体が認定申請しやすくなった) 単年度主義の変更(2事業年度の平均で寄付収入や特定非営利活動の割合を計算しハードルが緩和された) 認定NPO法人の申請書の添付書類及び各事業年度の報告書類の一定の簡素化 個人の寄付金控除の控除対象限度額を総所得金額等の30%(現行25%)に引き上げ については、茨城集会に出席いただいた議員の方が現場の声を踏まえ強く働きかけてくださったことが改正につながりました。 今回の運動にご協力いただいたNPO関係者と議員

の皆様にお礼申し上げます。まだまだ多くの課題が残されていますが、引き続き現場の声を出し続け、さらにより制度にしていきたいと思っております。

県が引きこもりに関する相談体制づくり

県は保健福祉教育機関を主な対象にした「引きこもり」相談への対応と援助に関する研修を12月27日に開催。300名近い参加の中20名ほどのNPO関係者も出席。講演では、引きこもりの解説に続き、援助ではまず家族の相談を受けとめること、社会回復支援ではNPOと各機関の連携が重要との指摘があった。コムズも青年支援に関して、裏面にある集いを開催します。

イベント案内

里山子ども探偵団
日時 1月22日(土)午前9時~正午
集合場所 "時代亭"駐車場付近(土浦学園線・宍塚宿信号横)
参加費 無料 *雨天中止
問い合わせ

NPO法人 宍塚の自然と歴史の会
Tel&Fax 029-837-0010(北村さん)
市民活動支援センター開設2周年記念
「市民活動研修講座」~地域づくりの今日そして明日を考える~
平成14年に市民活動の総合拠点として開設されました守谷市民活動支援センターは12月3日で開設2周年を向かえることができました。この度、開設2周年を記念して第2回市民活動研修講座を開催します。

日時 1月23日(日)午前10時~11時半(開場10分前)
場所 守谷市役所 会議室
講師 長谷川幸介先生(茨城大学助教授)
外岡仁先生(大好きいばらき県民会議市町村推進組織づくり特別委員会委員長)
内容「住んでよかったといえる地域づくりを実現するために、市民活動による地域づくりの明日に向かって「今、何を考え、何ができるのか...」を考えます。

定員 先着80名
参加費 無料
主催・問い合わせ
守谷市民活動支援センター
Tel 0297-46-3370
ウィメンズネット「らいず」シンポジウム DVと子どもの権利~見逃さないで子どものサイン~

日時 1月29日(土)午後0時半~4時(開場30分前)
場所 神栖町中央公民館小ホール
プログラム
劇「壊れる時間(とき) 女性の人権を考えるグループ「花づな」
基調講演「家族の視点から - DVと子どもの虐待を考える」
講師 大津恵子さん(日本キリスト教矯風会女性の家HELディレクター)
パネルディスカッション「家族間の暴力 - 見逃さないで子どものサイン」

参加費 無料
申し込み・問い合わせ
ウィメンズネット「らいず」事務局
Tel 029-221-7242 Fax 029-255-6131
女性の人権を考えるグループ「花づな」
Tel 0299-96-0058 Fax 0299-96-6388
~新春 音楽と健康のつどい~
「元気の出る講演会」

日時 1月29日(土)午後1時半~4時半
場所 ワークプラザ勝田 多目的ホール
オープニング 新春和太鼓演奏
講演会 介護予防の切り札! 脳を鍛える「健脳・けんこつ体操」
講師 高橋賢一さん(明治学院大学名誉教授)

エンディング トランペット演奏
参加費 300円(前売りチケットになります)
協賛 高齢者健康運動普及協会いばらき
主催・問い合わせ
NPO法人 生活支援ネットワークこもれび
Tel&Fax 029-276-8992
NPO交流会「指定管理者制度における行政との協働」

日時 2月5日(土)午後1時半~4時半
場所 ひたち市女性センター(らぼーるひたち)
対象 NPO、行政職員又はNPOに関心のある方
資料代 1,000円
主催・問い合わせ
NPO法人ひたちNPOセンター・with you
Tel&Fax 0294-22-6292
E-mail: withyou@agate.plala.or.jp

ひきこもりからの回復を支えるためにはじめの一歩をどうつくるか
日時 1月22日(土)午後1時半~4時半
場所 茨城大学地域総合研究所
対象 社会とのかかわりを模索している青年や家族の方々、青年を支援している団体の関係者、ひきこもり・ニートに関心をもつの方々

参加費 500円
プログラム
当法人の2年間の「とらいスペース事業」と青年の活動報告
青年支援に関わる県内団体等の紹介
グループでの話し合い 青年自身、家族、地域、支援団体ができることを話し合い共有します。
申し込み・問い合わせ

レ・Nポ日I体ト験O

ひたちなか市の「舞台屋あい」(以下、「舞台屋」)は、94年に内田真さん(現代表、塾講師)が中心となって活動をはじめた草の根劇団である。普段は週一回程度の稽古を行い、公演は毎年1回行っている。10年目を迎えた今年の公演は、ワークプラザ勝田で10月10日に「舞台屋あい10周年「Love & Peace & Friends」」と題して行われた。舞台屋の劇のほか、数団体が前後に出演する4時間の公演で、客席はほぼ満席の盛況だった。私は舞台裏のボランティアとして参加していた。



午後4時からの開演だが舞台屋は午前9時に集合、出番以外は全員裏方だ。機材や大道具の搬入・セッティングの他、舞台入替えても舞台屋は全員動く。そんな中でも自分達の芝居はしっかりと。劇の舞台は将来の日本。志願兵の父をもつ日本の女子高生が主人公だ。ある日、イラクの亡霊一家と出会い友達になるが、一家を殺したのは父だと知る。彼女は悩み、どうにもならない感情を父にぶつける。彼女や一家の悲しみを知り、父は自らの罪を悔いる。テーマは痛烈で鋭い。だが、芝居は全く気取っていない。舞台の上で、誰もが本音をぶつけ合うから、観ている者をひきつける。自らの罪を父が悔いる場面では、さすがに涙腺が潤んでしまった。

他団体の公演も、創作田楽、フォーク、ジャズ、吹奏楽、ポップスと、素晴らしいものが盛りだくさん。ラストは出演者・裏方全員が舞台上に上り、客席も一緒に「イマジ」の大合唱。誰もがみやげをいっぱい持ち帰ったことだろう。終演後は打上げ会。老若男女のメンバーは、皆、よく食べ、よく飲み(笑)、よくしゃべる。舞台屋は1つのコミュニティとなっているようだ。舞台屋が芝居とともに生み出すこのコミュニティこそが、

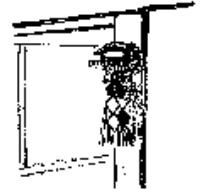
(文と写真 和泉 孝さん 実は一番素晴らしいものなのかもしれない。=赤塚みなみ保育園) 最後になりましたが、舞台屋の皆さん、素晴らしいボランティアの機会をありがとうございました!次回もぜひぜひ参加させて下さいね~!

舞台屋あい
〒312-0063 ひたちなか市田彦1006-11
Tel 090-3503-9282 Fax 029-273-7378
E-mail: butaiya@anet.ne.jp
http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Stage/3577/

NPO法人 茨城NPOセンター・ commons
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
森林との共生を語る集い
56回全国植樹祭開催を契機に森林の重要性を理解し、多様な担い手の協働による森林づくりを推進し、森林と人とが共生する社会を実現する。
日時 2月25日(金)午後1時~
場所 茨城県立図書館視聴覚ホール
問い合わせ 上記と同じ

五軒町だより
事務日誌にかえて

しめなわ 注連縄飾り



お正月、周りの家や会社、お店、あちこちの玄関に注連縄飾りが見えます。ただ、なんとなく以前より少なくなったような気がするの私だけでしょうか。

そういえば、これはどんな意味があるのかと、今さらながら調べてみると、悪いものが入ってこないようその場を清めるためのものとか。よく知らずに当たり前に見えていたけれど、意味がわからなければ飾ることもなくなっていってしまう、と自分も含めて情けないような寂しいような気持ちになりました。

単に続けていくことよりも、必要なこと、大切なこと、そうする意味を心に留めていられることが大事なのだと思う。そしてそれはきっと何でも同じこと。

(文と絵 草間多佳子)

新聞切り抜き隊

2004年12月6日 茨城新聞
500人が聖火リレーSO冬季世界大会 掛け声の中会場周回
知的障害者のスポーツの祭典「2005年スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会長野」の聖火をつなぐ「五百万人トーチランin潮来」が、5日潮来市の日の出小体育館で開催された。かしまトーチラン実行委員会(原田雅也委員長)が主催し、「五百万人in鹿嶋・潮来・神栖」の全4回(10月5日神栖町民運動場、同11日かしまトーチラン開幕式・鹿嶋セントラルホテル、同16日鹿嶋スポーツセンター、)の聖火リレーの最後で約2月間の活動を締めくくった。
今後、500万人トーチランinいわみ(飯富養護学校グラウンド:1月29日午後1時)などを計画中。問い合わせ029-251-3300(鈴木さん)

2004年12月2日 茨城新聞
自立した人生歩ませたい
東海のパン屋「ドリームたんぼぼ」 明るく働く障害者たち東海村ではじめてのNPO法人となった「ドリームたんぼぼ」。障害者の働く場として、2004年9月に法人化された。代表の中村朋子さんはご自身も障害を持つお子さんがいる。「人として生まれ、自立した人生を子どもに歩ませたい」と、パンを製造し販売する店をオープンした。「社会的にもこの店が自立し、多くの人に支えていただきたい」という思いからNPO法人化。
新聞切り抜き隊は、毎月2回半日程度commonsの事務所でNPO関連の記事をスクラップしています。新メンバーも募集中です!!

本紙常備施設・お店

- ハモナカフェ(Tel 029-871-2157) 水戸芸術館(Tel 029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel 029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel 0294-72-8888) 自然食レストラン「パンブキン」(Tel 0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel 0294-72-8888) カフェ「ピアノシモ」(Tel 029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel 090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel 029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel 029-228-1313) 交流サロンのいばらき(Tel 029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel 029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel 029-309-4141) 菜食カフェレストラン「Ritz n(りっつん)」(Tel 029-856-0009) つくば市市民活動センター(Tel 029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel 0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel 0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel 0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel 0296-24-3530) 県西生涯学習センター(Tel 0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel 029-826-1101) 県立図書館(Tel 029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel 029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel 029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel 029-248-4051) まちかど情報センター(Tel 0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel 029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel 029-273-3281) 阿見町民活動センター(Tel 029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel 0297-58-3710) コープフレール水戸店(Tel 029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel 029-221-88360) ひたちまか・まふれ愛ひろば(Tel 029-276-0101)

あとき

10年ぶりのシステム手帳。今年こそ計画性(ハリー) テーマ、変わること、変えること。(くま) (公威)(くり)